

●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 24 年度電気関係学会

東海支部連合大会——

講演申込締切 7月13日(金) 23:00

論文投稿締切 7月17日(火) 23:00

連合大会 Web <http://www.ieice.org/tokai/rengo2012/>

【大会の概要】

1. 期日：平成 24 年 9 月 24 日 (月), 25 日 (火)
2. 会場：豊橋技術科学大学 (豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1)
(地図参照) <http://www.tut.ac.jp/about/access.html>
3. 特別講演：1 件, 合同企画シンポジウム：1 件, 各学会企画シンポジウム：3 件 (以上全て依頼)
4. 一般講演：(公募)
5. 懇親会：平成 24 年 9 月 24 日 (月)

投稿論文募集 (一般講演)

主催及び共催学会に関わる一般講演論文を幅広く募集します。分量は A4 1 ページ, 通常の口頭発表のほか, ポスターセッションも開催します。投稿時にこれら発表形式を選択可能です (詳細は Web 参照)。

一般講演について

- (ア) 講演者は原則として主催または, 共催学会会員に限るが, 非会員の講演も認めます (講演参加費が異なるので, 注意すること)。また, 講演は一人 1 件に限ります。ただし, 複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えありません。
- (イ) 最近の研究・工事計画・現場試験・新製品の紹介等で未発表のもの。ただし, 内容の類似したものが数件にわたることは認めません。実行委員会で不相当と認めた論文は, 講演を断ることがあります。また, 講演論文は, 原則として和文とするが, 英文も認めます。
- (ウ) 講演時間は 1 件当り発表 10 分, 質問時間 2~3 分とします。プロジェクタ以外の機器が必要な場合は各自用意下さい。

参加費

講演者 (CD-ROM あり) (会 員：事前登録) 4,000 円

講演者 (CD-ROM あり) (非会員：事前登録) 8,000 円

聴講者 (CD-ROM あり) (会 員：事前登録) 4,000 円

(会 員：当日参加) 5,000 円

聴講者 (CD-ROM あり) (非会員：事前登録) 8,000 円

(非会員：当日参加) 9,000 円

聴講者：学生専用 (CD-ROM なし)

(会 員・非会員：事前登録) 無料

(当日参加) 1,000 円

・CD-ROM ありの講演者・聴講者は, 一般・学生とで同一料金です。CD-ROM は当日受付で配布されます。

・支払いはカード・コンビニ決済を予定しています。

※学生の聴講者のみ, 特別料金 (CD-ROM なし) で参加することができます。

広告募集・企業展示 プログラム及び連合大会 Web における広告を募集致します (詳細は Web を参照)。協賛会員及び広告出展社には, 会場における企業展示ブースを提供致します。

奨励賞 過去に受賞歴がなく, かつ受賞審査を希望する発表当日 35 才以下の会員で, 特に優秀と認められる講演者に贈呈します。

連合大会事務局

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻

吉川大弘研究室内

TEL [052] 789-3167, FAX [052] 789-3166

jimkyoku@tokai-section.org

<http://www.ieice.org/tokai/rengo2012/>

主 催 電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 日本音響学会各東海支部, IEEE 名古屋支部

共 催 電気設備学会中部支部

——平成 24 年度 (第 65 回) 電気関係学会

九州支部連合大会——

期 日 平成 24 年 9 月 24 日 (月), 25 日 (火)

会 場 長崎大学文教キャンパス (長崎市文教町 1-14)

重要な日程

1. 講演申込 (タイトルとアブストラクト)

6月18日(月)~7月17日(火) 24:00

講演費の振込期限：7月18日(水)

2. 講演論文原稿受付

6月18日(月)~8月16日(木) 24:00

3. 聴講事前申込, 追加 CD-ROM, 論文集 CD-ROM のみ事前申込

6月18日(月)~8月16日(木) 24:00

聴講費・論文集 CD-ROM 購入費の振込期限：8月17日(金)

参加費 講演：4,000 円

聴講 (事前登録)

主催学会会員 3,000 円 / 非会員 4,000 円

学生 (聴講のみ) 無料 / 学生 (論文集付) 1,000 円

聴講 (当日受付)

主催学会会員 4,000 円 / 非会員 6,000 円

学生 (聴講のみ) 無料 / 学生 (論文集付) 2,000 円

※学生 (聴講のみ) の方も, 必ず受付が必要です。

講演者 主催学会会員に限ります (当支部所属に限られません)。Web での申込時に会員番号の入力が求められますので, 特に, 本大会で講演予定の学生については, 早めにいずれかの学会への御入会手続きを行って下さい。学会によっては, 入会申込から入会承認まで 2 か月ほどかかる場合もあります。

講演内容 最近行った研究, 計画及び工事報告, 現地試験報告, 新製品の紹介など。

企業協賛 企業・団体の皆様に大会協賛として, プログラム冊子・大会論文集 CD-ROM への広告掲載, 大会会場での展示ブースを御用意致しております。また, 一定額以上の御協賛には特典として, 活動内容・製品などについて御講演頂ける機会を設けております。詳しくは大会サイトを御覧下さい。

大会サイト <http://www.jceee-kyushu.jp/>

問合せ先 電気関係学会九州支部連合大会委員会 事務局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-2-28 南館 8F
info2012@jceee-kyushu.jp

主 催 電気関係学会九州支部連合大会委員会（電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、照明学会、電気設備学会、映像情報メディア学会、日本音響学会の各九州支部、IEEE Fukuoka Section）

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「ポスト地上デジタル放送」

昨年7月に地上波放送のデジタル化が完了し、今年はメディア技術の新たな幕開けとなる予感がしています。放送がデジタル化されたことにより、今後、通信との連携、融合がますます加速し新たなサービスや端末が登場してくるであろうと考えます。今回は、「ポスト地上デジタル放送」と題し最近注目されている次世代のサービス、技術の最新動向に触れる講習会を企画しました。

つきましては最先端を担う方々に御講演頂きますので、奮って御参加下さい。

日 時 平成24年6月22日（金）9：45～17：15

会 場 中央電気倶楽部 513号室（大阪市北区堂島浜 2-1-25、ドージマ地下センター南詰を右側に上り、右へ約50m、左側のレンガ造り建物）

講師と題目

- (1) 開講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部支部長
 - (2) IPDC (IP Data Cast) が目指すもの
中村伊知哉（慶大）
 - (3) V-LOW マルチメディア放送の実証実験について
芝 勝徳（近畿 V-LOW 実証実験協議会）
 - (4) スーパーハイビジョンの最新動向 奥井誠人（NHK）
 - (5) 次世代 STB：ハイブリッド BOX
徳竹政幸（日本ケーブルラボ）
 - (6) スマートテレビに関する技術動向
松村浩一（パナソニック）
 - (7) 次世代 UI：ジェスチャー入力（PointGrab 社）と 3D マルチタッチ入力（ZRRO 社）
後藤哲夫・森 主門（CP&C ジャパンパートナーズ）
 - (8) 閉講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部庶務幹事
- 主催学会会員（正員 10,000 円、准員・学生員 無料）
会員外（一般 15,000 円、学生 5,000 円）

定 員 80 名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申 込 講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）等を映像情報メディア学会関西支部の HP（<http://www.ite.or.jp/kansai/>）からお申込み下さい。後日、参加章と請求書を郵送します。なお、FAX、E-mail の場合は下記へお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

——本会・ソサイエティ・研究専門委員会等主催・共催——

●エレクトロニクスシミュレーション講習会

「差分法による光導波路解析入門—ビーム伝搬法と有限差分時間領域法—」

委員長 橋本 修（青学大）

エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会では、以下の趣旨・講義内容で講習会を開催致します。奮って御参加下さい。

期 日 平成24年7月3日（火）13：30～17：00

会 場 青山学院大学青山キャンパス総研ビル 10階第18会議室
講 師 柴山 純（法政大）

【趣旨】 マイクロ波・ミリ波の領域に加え、光波領域においても種々のシミュレータが市販されるようになりました。中でもビーム伝搬法（BPM）は最も広範に利用されています。BPMは近似に基づく手法のため実問題への適用には注意を要しますが、近似の成り立つ範囲で適切に利用すれば極めて効率良い解析を精度良く実行できます。本講義では、使用している近似に注意しながら差分型 BPM の定式化と実行方法を優しく説明します。実問題への適用範囲・限界を解説し、種々の計算結果も示します。

光の進行方向に大きな屈折率差のある問題には有限差分時間領域（FDTD）法が好適です。近年、時間刻み幅に制限のない交互方向陰解法（ADI）や局所次元法（LOD）を利用した陰的 FDTD 法も検討されています。これらの手法において連立方程式を解くアルゴリズムは極めて簡素であり、上述した差分型 BPM のものと同様であることは意外に知られていないようです。本講義では特に LOD-FDTD 法を取り上げ、詳しい定式化を示した後に性能を評価します。プラズモンデバイス解析のための周波数依存型手法への応用も解説します。BPM、陰的 FDTD 法に関する理解を深めて頂くことを目的としますが、シミュレータを自作したい方などにも有益な内容となっています。

内 容

1. 光導波路の数値解法の特徴と使い分け
2. ビーム伝搬法（定式化、吸収境界条件、連立方程式の求解、虚軸法による固有モード解析、ビーム伝搬解析、ADI 法に基づく三次元差分型 BPM、広角 BPM、ベクトル型 BPM）
3. 有限差分時間領域（FDTD）法（陽的 FDTD 法と陰的 FDTD 法、LOD-FDTD 法の定式化、吸収境界条件、性能評価、周波数分散性媒質の取扱、周期構造の取扱、回転対称構造の取扱）

受講料 一般会員 15,000 円、一般非会員 20,000 円
学生会員 5,000 円、学生非会員 10,000 円

申込方法 研究会 HP <http://www.ieice.org/es/est/> を御覧の上、お申し込み下さい。定員に達し次第、申込を締め切らせて頂きます。

問合先 須賀良介（青学大）rsuga@ee.aoyama.ac.jp
TEL [042] 759-6298

主 催 電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティエレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会